

正誤表

このたびは、弊社刊『改訂版 竹岡広信の 英作文が面白いほど書ける本 音声ダウンロード付』（初版）の記述につき誤りがありました。お詫びとともに訂正させていただきます。

ページ・該当箇所		誤	正																																																				
本冊 P.31	頻出表現 9 「注意」内 1 行目	This also alpplies to	This also applies to																																																				
本冊 P.36	解説 2 ②	...amount of [(口語)a lot of] of stress	...amount of [(口語)a lot of] stress																																																				
本冊 P.113	解説 1 上から 3 つ 目の矢印部分	この部分は「学識的理由」	この部分は「常識的理由」																																																				
本冊 P.160	5 ○の英文	○We told him that we had successfully hundles that issue.	○We told him that we had successfully handled that issue.																																																				
本冊 P.160	7.	7.一般との主語は・・・	7.一般論の主語は…																																																				
本冊 P.205	コラム 形容詞の順序について	頻出表現 55 をもう少し細分化すると次のようになる 1. 主観的形容詞を細分化すると、【評価】→【大小・長短】→【新旧】 例「古くて大きな素晴らしい寺院」 a wonderful big old temple 例「活発な背の高い若い男性」 an energetic tall young man 2. 客観的形容詞を細分化すると、【形状】→【色彩】→【固有形容詞】 例「丸くて新しい机」 a new round table ※ new は主観的形容詞 例「白い四角い和紙」 a square white Japanese sheet of paper 3. 名詞に最も近い位置に置かれる客観的形容詞【素材】→【目的・用途】 例「ランニング用の皮の靴」 leather running shoes 例「木製のキッチンテーブル」 a wooden kitchen table	1. 話し手の主観的評価を表す形容詞を前に置く。ここでいう主観的形容詞とは、beautiful「美しい」、ugly「醜い」、wonderful「素晴らしい」、horrible「ひどい」などのこと。 2. 名詞に最も近い位置におかれる客観的形容詞は【素材】→【目的・用途】。 例「ランニング用の革の靴」 leather running shoes 例「木製のキッチンテーブル」 a wooden kitchen table 3. その他の形容詞の順序は次の通り。 <table><tr><td></td><td>大小・形状</td><td>→</td><td>性質・状態</td><td>→</td><td>新旧・老若</td><td>→</td><td>色彩</td><td>→</td><td>素材</td><td>→</td><td>名詞</td><td></td></tr><tr><td>例 1</td><td>a</td><td></td><td>rich</td><td></td><td>young</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>man</td><td>金持ちの若い男性</td></tr><tr><td>例 2</td><td>a small</td><td></td><td>cheap</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>bag</td><td>小さな安物のかばん</td></tr><tr><td>例 3</td><td>a</td><td></td><td>round</td><td></td><td>new</td><td></td><td></td><td></td><td>wooden</td><td></td><td>table</td><td>丸い新しい木の机</td></tr></table>		大小・形状	→	性質・状態	→	新旧・老若	→	色彩	→	素材	→	名詞		例 1	a		rich		young						man	金持ちの若い男性	例 2	a small		cheap								bag	小さな安物のかばん	例 3	a		round		new				wooden		table	丸い新しい木の机
	大小・形状	→	性質・状態	→	新旧・老若	→	色彩	→	素材	→	名詞																																												
例 1	a		rich		young						man	金持ちの若い男性																																											
例 2	a small		cheap								bag	小さな安物のかばん																																											
例 3	a		round		new				wooden		table	丸い新しい木の机																																											

本冊 P.319	解説 2 赤矢印 1 つ目 1 行 目	…③、④だが、	…③だが、
本冊 P.325	解答の上に 「解説 5」を追加		解説 5 「～は人ごとに微妙に違います」 vary [differ] slightly [subtly / a little] from person to person [from one person to another] → 《vary from A to A》では A に単数形の名詞が無冠詞で置かれる。よって from people to people は不可である。→P.136 原則 28
本冊 例題 45 P212	解説 5	解説 5「年齢によって眠りの量と深さは変わってくる」 ①How long and how well ②The depth and amount of your sleep ... ③The quality and quantity of your sleep...	解説 5「しかし、年齢によって眠りの量と深さは変わってくる」 ①However, how long and how well ②However, the depth and amount of your sleep ... ③However, the quality and quantity of your sleep...
本冊 例題 45 P212	解説 6	解説 6「しかし、一般的に言って」 ①However, generally (speaking) ②However, in general	解説 6「一般的に言って」 ①generally (speaking) ②in general ※generally speaking は口語的なので避ける。
本冊 例題 45 P213	解答	解答 1 The depth and However, generally, the older.... 解答 2	解答 1 However, the depth and.... Generally, the older.... 解答 2 However, how long and.... In general, as we....

		How long and.... Generally, however, as we....	
本冊 P79	解答	解答1 ... including heart and liver diseases. However ... 解答2 ,such as heart and liver diseases. However, ...	解答1 ... including heart and liver disease. However ... 解答2 ,such as heart and liver disease. However, ...
本冊 P228	下から 3 行目 例 1	as our old one is convenient	as our old one was convenient
本冊 P232	注意 2	そうしなくても詳解はないので…	そうしなくても 誤解 はないので…
本冊 P27	解説 4 P27 の 上から 3 行目	⑤には「あわてて」に対応する英語がないが、「夏休みが始まってすぐ」があるので	⑤には「あわてて」に対応する英語がないが、「 新学期の始まる直前に 」があるので
本冊 P30	解説 3 ③	change your perspective	change one's perspective
本冊 P14	解説 3 下から 3 行 目	(V) instead of (V) ing は…	(V) instead of (V) ing は…
本冊 P236	1 内 例 2	例2の used to のあとには do をつけてはならない。この do は助動詞なので、used to という助動詞のあとに置けないということである。will can とは言えないのと同じことである。	例2の used to のあとには do をつけてはならない。比較の than S used to の場合、主節の動詞が一般動詞の場合には used to do ではなく used to とすることに注意。